

□左の規定により『みづゑ』中繪として挿入すべき繪畫を募集す

一 風景人物圖案等、種類を問はず

一 石版三色以内（青と黄とカケ合せて緑を造るが如きは隨意にて）印刷し得るもの

一 面積は曲尺三寸五分に五寸以内とし縦横共任意

一 毎月二十五日メ切

一 應募畫中『みづゑ』に色刷として採用せしものには賞品を贈る

□右は明年一月の紙上より掲出致度候間何卒本月より奮つて御投稿被下度候

□本號の口繪は信州淺間山麓の秋景にしてワツトマン四分の一の大ひさに御座候

□次號にはビーター、デ、ウイント氏の傑作を久し振にて石版として掲出可致候

### 近事雜聞

□日本水彩畫會研究部へは日々入學者あり目下本科午前十五名、夜學科十名、別科二十名の生徒を有すと

□白馬會展覽會は去月六日開會二十五日閉會したり

□文部省第一回展覽會は去月廿五日開會水彩畫は今春の博覽會よりも見るべきもの多しといふ

### 問に答ふ

注 水彩畫に關係あるものに限る○の印は答へ一般に對して利益なきものは載せず

■洋畫家となるには如何なる學問が必要なりや（思案生）○普通學の外に外國語、美術史、用器畫法、美術解剖學の類■人體畫の研究のため參考となるべき裸體畫の好臨本

又は名畫集の如きものなきや（吉田稔）○人體畫の參考としては大家のデッサンを集めしもの良好なれど日本にては得難からん、

巴里サロンの裸體畫のみを集めしヌー、ドサロンといふもの年々出版さるゝ筈なるが今は如何にや■校外寫生にゆくに畫紙を畫板につけるには如何にすればよろしきや

（●●生）○紙を表裏共海綿にて濕し、畫板の上へおせて四方の縁を固き糊をつけた細き日本紙で貼つけるのである因一■意匠畫圖

按畫を學習せんとせば如何なる方法をとる如何なる書によりてよきや■前號住吉の

夕月の下方は水なりや柵なりや（一讀者）■圖按畫の修養には矢張り寫生が一番よろし天然物によりて基礎を作るのであるから

初學の中は植物などを正確に寫生するを要す參考書としては普通書肆に出版されしものにて良好のもの見當らず ■柵なり■俳畫とは『趣味』のうちの不折氏の繪の如き一寸した繪に俳句をつけたものにてや（九州生）

○必ずしも俳句のついたものと限らぬ俳趣味の繪を指す

### 編者より

○春水生へ カンボーヂは何國製にても缺點あり、日本繪具用の雌黃を其儘使用されたり、色彩鮮にして且價も低廉なり、何處の藥店にもあり○會員の一人君へ書物に限らず總て見る處によつて形は相違します、君の見方は間違つて居ない○海老名君へ夜の汽船はスケッチとして佳良